

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた部分の漢字が正しければ○を、間違っていれば正しい漢字に直して、下の□に書きましょう。

例 友達と 駅で 合う。

会う

- ① 運動会の 徒競走で 一着になる。
- ② 日本が 人工衛生を 打ち上げる。
- ③ 書店で 週間誌を 買う。
- ④ 焼き肉は ぼくの 大好物だ。
- ⑤ 今年の 夏は とても熱い。
- ⑥ 学級会の 議長を 勤める。
- ⑦ この村には 大きな病院も 警察所もない。
- ⑧ 日本は かつて戦争に 破れた。
- ⑨ この町に 長年 住みなれる。
- ⑩ 姉の花嫁姿を 創造 してみる。

解答

- ① 運動会の 徒競走で 一着になる。
- ② 日本が 人工衛星を 打ち上げる。
- ③ 書店で 週間誌を 買う。
- ④ 焼き肉は ぼくの 大好物だ。
- ⑤ 今年の 夏は とても暑い。
- ⑥ 学級会の 議長を 勤める。
- ⑦ この村には 大きな病院も 警察所もない。
- ⑧ 日本は かつて戦争に 敗れた。
- ⑨ この町に 長年 住みなれる。
- ⑩ 姉の花嫁姿を 創造 してみる。

○

人工衛星

週刊誌

○

暑い

務める

警察署

敗れた

○

想像

年

組

番氏名

次のAからFのグループの、——線を引いた漢字の読み方が、一つだけ異なるものがあります。例にならってその漢字の記号と読み方を下の□□に書きましよう。

例

エ	ウ	イ	ア
家賃	家屋	家族	家事

エ
や

A

エ	ウ	イ	ア
人	生	一	生
生	命	生	活

C

エ	ウ	イ	ア
雨	雨	雨	雨
音	雲	戸	天

E

エ	ウ	イ	ア
馬	重	筋	無
力	力	力	力

B

エ	ウ	イ	ア
物	人	物	植
品	物	語	物

D

エ	ウ	イ	ア
文	文	文	文
明	字	学	章

F

エ	ウ	イ	ア
平	平	平	平
等	行	和	均

解答

E

エ ウ イ ア
馬力 重筋 無力

エ
りき

C

エ ウ イ ア
雨音 雨雲 雨戸 雨天

ア
う

A

エ ウ イ ア
人生 生命 一生 生活

イ
しょう

F

エ ウ イ ア
平等 平行 平和 平均

エ
びょう

D

エ ウ イ ア
文明 文字 文学 文章

ウ
も(もん)

B

エ ウ イ ア
物品 人物 物語 植物

イ
もの

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた部分の漢字が正しければ○を、間違っていれば正しい漢字に直して、下の□に書きましょう。

例 友達と 駅で 合う。

会う

① 祖母の 墓前に 花を供える。

② 作業が 順調に進むように 勤める。

③ 朝起きて 家の回りの そうじをする。

④ 朝の光で さわやかに 目が冷めた。

⑤ 小人数で 算数の 学習をする。

⑥ 家の部屋の まどを大きく 明けた。

⑦ トラックの荷物を 倉庫に 移す。

⑧ 長い一年が終わり ようやく 年が明けた。

⑨ 大震災で 家がこわれ 仮説住宅で生活する。

⑩ 市役所で 照明書を もらう。

解答

- ① 祖母の 墓前に 花を供える。
- ② 作業が 順調に進むように 勤める。
- ③ 朝起きて 家の回りの そうじをする。
- ④ 朝の光で さわやかに 目が冷めた。
- ⑤ 小人数で 算数の 学習をする。
- ⑥ 家の部屋の まどを大きく 明けた。
- ⑦ トラックの荷物を 倉庫に 移す。
- ⑧ 長い一年が終わり ようやく 年が明けた。
- ⑨ 大震災で 家がこわれ 仮説住宅で生活する。
- ⑩ 市役所で 照明書を もらう。

○

努める

周り

覚めた

小人数

開けた

○

○

仮設

証明書

四文字熟語を作る

その1 六年生

年

組

番氏名

次の①～⑳の二字のことばを組み合わせ、四字熟語を十個、作りなさい。答えは例のように、解答らんにてきた四字熟語を書きなさい。(番号を答えに書く必要はありません。また一度使った言葉は二回使ってはいけません。)

- ① 四方
- ② 一心
- ③ 三寒
- ④ 一進
- ⑤ 一刀
- ⑥ 千変
- ⑦ 二足
- ⑧ 万化
- ⑨ 三文
- ⑩ 八方
- ⑪ 一退
- ⑫ 四温
- ⑬ 百発
- ⑭ 八倒
- ⑮ 百中
- ⑯ 十人
- ⑰ 両断
- ⑱ 十色
- ⑲ 不乱
- ⑳ 七転

解答らん

			例 一朝一夕

解答

<p>例 一朝一夕 (いっちよういっせき)</p>	<p>千変万化 (せんぺんばんか)</p>	<p>三寒四温 (さんかんしおん)</p>
<p>一進一退 (いっしんいつたい)</p>	<p>七転八倒 (しちてんぱっとう)</p>	<p>二足三文 (にそくさんもん)</p>
<p>百発百中 (ひゃっぱつひやくちゆう)</p>	<p>一心不乱 (いっしんふらん)</p>	<p>十人十色 (じゅうにんといろ)</p>
<p>四方八方 (しほうはっぽう)</p>	<p>一刀両断 (いっとうりょうだん)</p>	<p>※順不同</p>

解答

<p>例 一石二鳥 (いっせきにちよう)</p>	<p>竜頭蛇尾 (りゆうとうだび)</p>	<p>羊頭狗肉 (ようとうくにく)</p>
<p>南船北馬 (なんせんほくば)</p>	<p>千軍万馬 (せんぐんばんば)</p>	<p>牛飲馬食 (ぎゅういんばしょく)</p>
<p>猪突猛进 (ちよとつもうしん)</p>	<p>鶏口牛後 (けいこうぎゅうご)</p>	<p>花鳥風月 (かちようふうげつ)</p>
<p>馬耳東風 (ばじとうふう)</p>	<p>※順不同</p>	

解答

<p>例 一朝一夕 (いっちょういっせき)</p>	<p>春夏秋冬 (しゅんかしゅうとう)</p>	<p>危険防止 (きけんぼうし)</p>
<p>政党政治 (せいとうせいじ)</p>	<p>電気製品 (でんきせいひん)</p>	<p>森林公園 (しんりんこうえん)</p>
<p>空前絶後 (くうぜんぜつご)</p>	<p>入学試験 (にゅうがくしけん)</p>	<p>右往左往 (うおうさおう)</p>
<p>工業団地 (こうぎょうだんち)</p>	<p>祝賀行事 (しゅくがぎょうじ)</p>	<p>※順不同</p>

年

組

番氏名

二字の漢字からできている熟語の成り立ちには、次のようなものがあります。

- ア 意味が似ている漢字の組み合わせ（増大・豊富など）
- イ 意味が対^{つひ}または反対になる漢字の組み合わせ（開閉・高低など）
- ウ 上の漢字が下の漢字を修飾する関係にある組み合わせ（青空・新年など）
- エ 下の漢字が上の漢字を修飾する関係にある組み合わせ
（「…を」「…に」に当たる漢字が下に来る組み合わせ…洗顔・登山など）
- オ 上の漢字が主語、下の漢字が述語の関係になる組み合わせ（地震・人造など）

次の①～⑩の熟語の成り立ちとしてもっともふさわしいものを、右のア～エから一つ選び、熟語の下の（ ）に書きなさい。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ① 氷河（ ） | ② 養蚕（ ） | ③ 海底（ ） |
| ④ 明暗（ ） | ⑤ 仁愛（ ） | ⑥ 市営（ ） |
| ⑦ 表現（ ） | ⑧ 帰国（ ） | ⑨ 長短（ ） |
| ⑩ 日照（ ） | | |

解答

① 氷河 (ウ)

② 養蚕 (エ)

③ 海底 (ウ)

④ 明暗 (イ)

⑤ 仁愛 (ア)

⑥ 市営 (才)

⑦ 表現 (ア)

⑧ 帰国 (エ)

⑨ 長短 (イ)

⑩ 日照 (才)

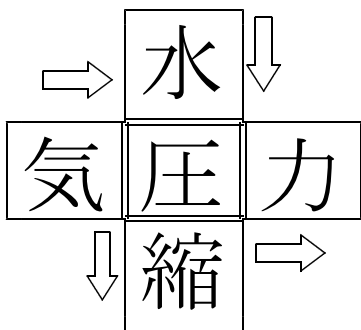
年

組

番氏名

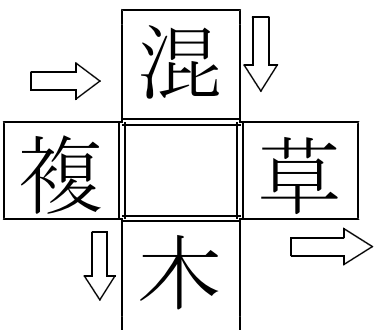
□に漢字を一字入れて、二字の熟語を四つ作りなさい。矢印に従って読みますが、読み方は音でも訓でもかまいません。

例

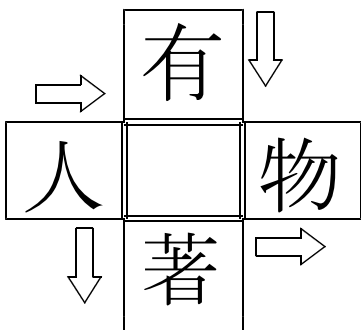


(水圧・圧縮・気圧・圧力)

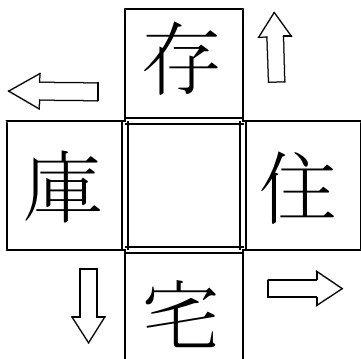
2



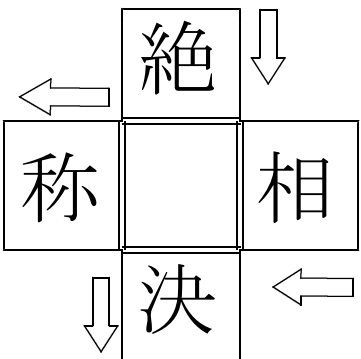
4



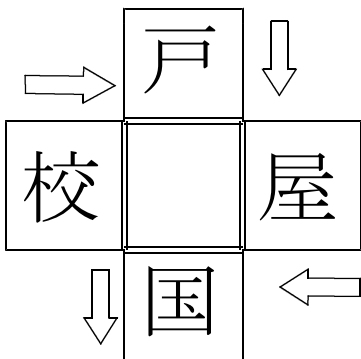
1



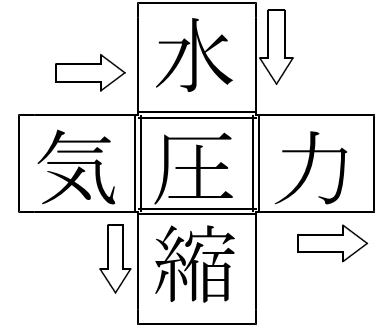
3



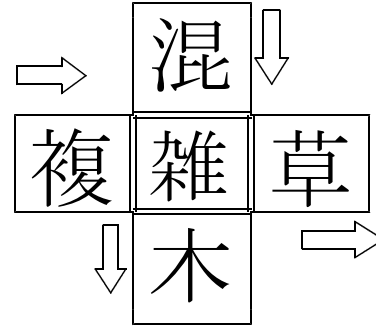
5



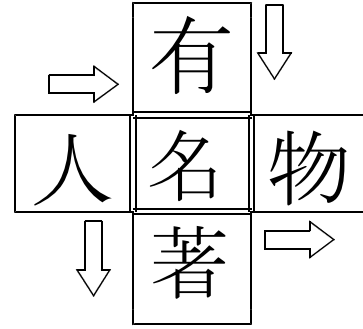
例



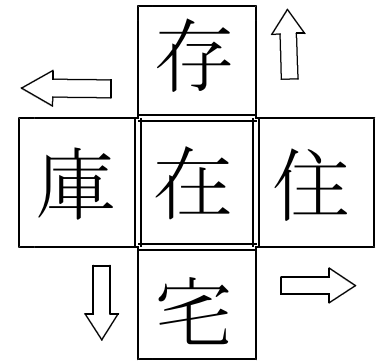
2



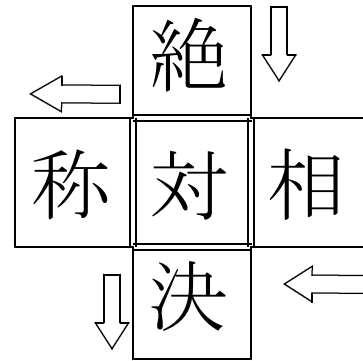
4



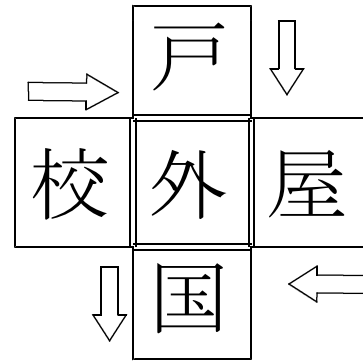
1



3



5



年

組

番氏名

次の文の——線を引いた部分を、漢字と送り仮名で、下のに書きましよう。

① この道路は 自動車が多くて とてもあぶない。

② 昨日から ずきずきと 頭がいたい。

③ 彼のすばらしさが みんなに みとめられる。

④ 課題に そつて 話し合いを進める。

⑤ 修学旅行で 日光を たずねる。

⑥ マザー・テレサの 行いは とてもたつとい。

⑦ 明日は 午後から 雪がふるそうだ。

⑧ 感動した 映画の 幕がとじた。

⑨ 野原に ひまわりが 咲きみだれる。

⑩ きびしい寒さの中を 父は 帰ってきた。

解答

- ① この道路は自動車が多くてとてもあぶない。
- ② 昨日から ずきずきと 頭がいたい。
- ③ 彼のすばらしさが みんなに みとめられる。
- ④ 課題に そって 話し合いを進める。
- ⑤ 修学旅行で 日光を たずねる。
- ⑥ マザー・テレサの 行いは とてもたつとい。
- ⑦ 明日は 午後から 雪がふるそうだ。
- ⑧ 感動した 映画の 幕がとじた。
- ⑨ 野原に ひまわりが 咲きみだれる。
- ⑩ きびしい寒さの中を 父は 帰ってきた。

危ない

痛い

認められる

沿って

訪ねる

尊い

降る

閉じた

乱れる

厳しい

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた部分を、漢字と送り仮名で、下のに書きましよう。

① ベランダに 洗濯物を ほす。

② 明日から この町で くらす予定だ。

③ ぼくの考えは あなたと 少しことなる。

④ 小鳥が 電線に ならんでいる。

⑤ 午後から はげしい雨に なった。

⑥ 先生の 指示に したがう。

⑦ 漢字の 使い方を あやまる。

⑧ 軒先から つららが たれている。

⑨ わからない単語を 辞書で さがす。

⑩ 輪ゴムが のびたり ちぢんだりする。

解答

- ① ベランダに 洗濯物せんたくを ほす。
- ② 明日から この町で 暮らす予定だ。
- ③ ぼくの考えは あなたと 少しことなる。
- ④ 小鳥が 電線に 並んでいる。
- ⑤ 午後から 激しい雨に なった。
- ⑥ 先生の 指示に 従う。
- ⑦ 漢字の 使い方を 誤る。
- ⑧ 軒先のきから つららが 垂れて いる。
- ⑨ わからない単語を 辞書で 探す。
- ⑩ 輪ゴムが のびたり 縮んだりする。

干す

暮らす

異なる

並んで

激しい

従う

誤る

垂れて

探す

縮ん

年

組

番氏名

次の文の——線を引いた部分を、漢字に直して、下の□に書きましょう。

① 走ったので しんぞうが どきどきする。

② 「まかしとけ」と言っ て むねを たたいた。

③ 難しい仕事に あたまをかかえてしまった。

④ 夕ごはんを はらいっぱい 食べる。

⑤ A先生は あの病院の のう外科の先生だ。

⑥ 交通事故で 足のほねが 折れる。

⑦ 入院して はいの手術をする。

⑧ 走り高跳びで失敗し せなかから地面に落ちる。

⑨ 昨日から しくしくと いが痛む。

⑩ ちようは 人間の体の中で いちばん長い。

解答

- ① 走ったので しんぞうが どきどきする。
- ② 「まかしとけ」と言って むねを たたいた。
- ③ 難しい仕事に あたまをかかえてしまった。
- ④ たごはんを はらいっぱい 食べる。
- ⑤ A先生は あの病院の のう外科の先生だ。
- ⑥ 交通事故で 足のほねが 折れる。
- ⑦ 入院して はいの手術をする。
- ⑧ 高跳びで失敗し せなかから地面に落ちる。
- ⑨ 昨日から しくしくと いが痛む。
- ⑩ ちようは 人間の体の中で いちばん長い。

心臓

胸

頭

腹

脳

骨

肺

背中

胃

腸